

2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

令和の教育改革

「教え方改革」により発展的な課題に挑む力を育成する。(Active)

「学び方改革」により基礎学力の確実な定着を図るとともに(Adaptive)、粘り強く取り組む子どもを育成する。(Assistive)

「マネジメント改革」により地域や大学、企業等の専門家と連携した質の高い教育を展開する。

【学校 目標】

○確かな学力を身につけた 心豊かで たくましい 子どもの育成

【現状と課題】

○指示されたことはまじめに取り組めるが、自主的に学習する力が弱い。

○国語科の読み取る力・書きまとめる力、算数科の基礎的な計算力に課題が見られる。

○支援を要する児童が多く、学力格差が大きい。特に、算数科の応用する力の差が大きい。

○算数科の必要性や重要性を感じていない児童が多く、学習意欲も低い。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって 取り組む学校づくり
【取組事項】 ○草津型アクティブ・ラーニングに 基づく授業改善を進め、子どもの 学ぶ意欲の向上を図る。 ○ICT機器の積極的な活用を進め る。(普段使いの電子黒板、タブ レットPC)	【取組事項】 ○学習規律のある学級集団を構築し 思考力ツールを活用して、考え説明す る力を育成する ○「学級の日」「なかまの日」を活用し て、学級や学年の仲間作りを進める。	【取組事項】 ○学習の土台部分を鍛える共通 実践を行う ○家庭学習の習慣の構築を図 る。(自学自習の力をつける)

その他 取組事項

学級担任や入り授業で関わる教職員だけでなく、管理職を含めた全職員や地域の方々も含めた人材を活用し、学びを続ける姿を示し続けたり、学びの大切さを感じ取れるような学習の機会を多く設ける。

取組事項	
視点1	漢字検定、計算プリント、全国学力・学習状況調査を 活用した評価と、授業改善を進める。
視点1	ITC機器を有効に活用し、視覚に訴える授業改善を進める。
視点2	「聞く・話す」力の育成を、友達同士の話し合い活動や 教室経営の工夫などを通して育成する。
視点2	「学級の日」や「なかまの日」を活用して学級や 学年の仲間作りを進め、学習に向かう集団を形成する。
視点3	板書の視写を含むノート指導を徹底する。
視点3	家庭学習の手引きを配布し、家庭学習定着週間を活用して 考えて進める家庭学習の充実を図る。